

熊本県におけるハマグリの資源管理及び 八代海のアサリの現状について

熊本県水産研究センター

全国的なハマグリ資源の現状

平成18年の漁獲量

1位 茨城県 579トン

2位 熊本県 106トン

3位 千葉県 82トン

4位 三重県 60トン

※農林水産統計は平成18年まで

有明海、八代海



ハマグリ
(在来種)



チョウセンハマグリ
(在来種)

輸入



シナハマグリ
(外来種)

- ・有明海・八代海で漁獲されるハマグリは、環境省の改訂版レッドリストで**絶滅危惧2類**に指定されている在来種

ハマグリ資源管理マニュアルについて

熊本県ハマグリ資源管理マニュアル



写真：熊本県産ハマグリ

（右下はレーザーマーカで刻印を施したもの）

平成25年3月
熊本県



写真：水揚げの様子

目次

第1章 ハマグリについて	… 3頁
第2章 ハマグリの資源管理について	… 11頁
第3章 生息状況調査方法	… 18頁
第4章 資源管理の実践（まとめ）	… 20頁



写真：水揚げ直後のハマグリ



写真：ハマグリのお吸い物

～2～

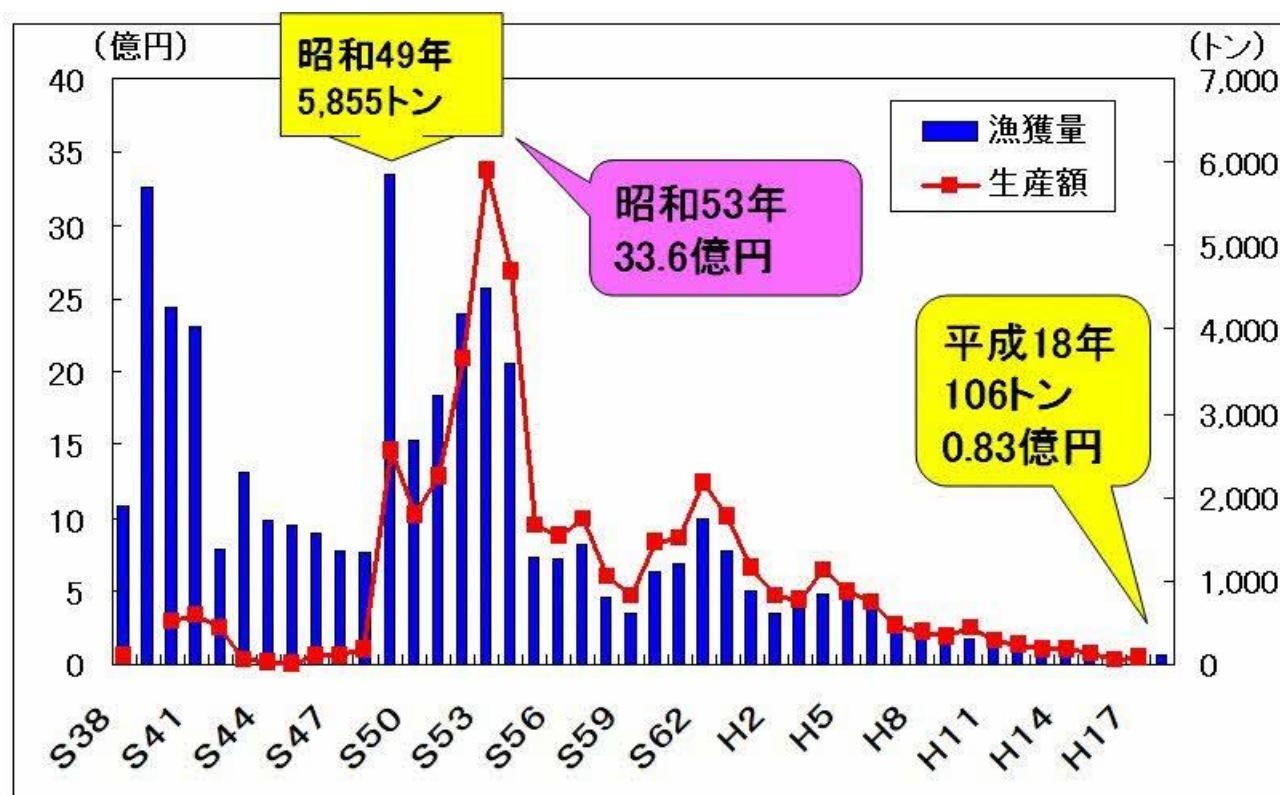
- ・平成25年3月にハマグリ資源管理マニュアルを発行
- ・ハマグリの生態や資源管理の手法について取りまとめる

ハマグリ資源管理マニュアルについて（２）

骨子紹介

★熊本県におけるハマグリ漁獲量及び生産額の推移（p.10）

熊本県のハマグリ漁獲量は、昭和40～50年代前半と比較すると、大幅に減少しています。



（農林水産統計）

ハマグリ資源管理マニュアルについて（２）

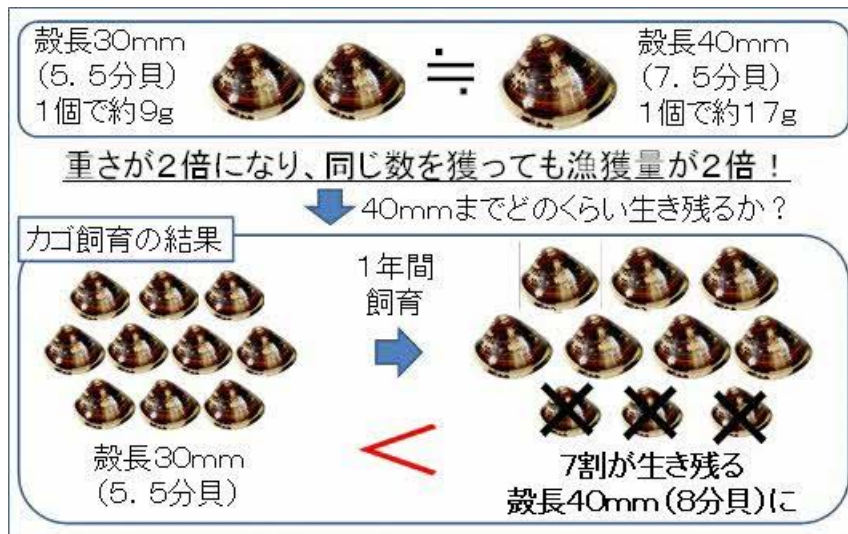
骨子紹介

★漁獲サイズの大型化（p.12～p.13）

**現在の漁獲サイズ（殻長30mm～）では、
産卵前のハマグリを獲っている恐れがあります！**



ハマグリの産卵開始は殻長30～40mmの間と
考えられているため、大型化は産卵回数や産卵個数の増加に繋がります。



表：各県の漁業調整規則

県名	採捕禁止サイズ
千葉県	30mm以下
愛知県	30mm以下
三重県	30mm以下
兵庫県	50mm以下
岡山県	30mm以下
福岡県	40mm以下
佐賀県	40mm以下 (有明海は30mm以下)
長崎県	30mm以下
熊本県	30mm以下
大分県	40mm以下
宮崎県	60mm以下

福岡、佐賀、大分では殻長40mm以下が
採捕禁止であり、熊本は周囲の県と比較して
小型のハマグリを採捕しています。

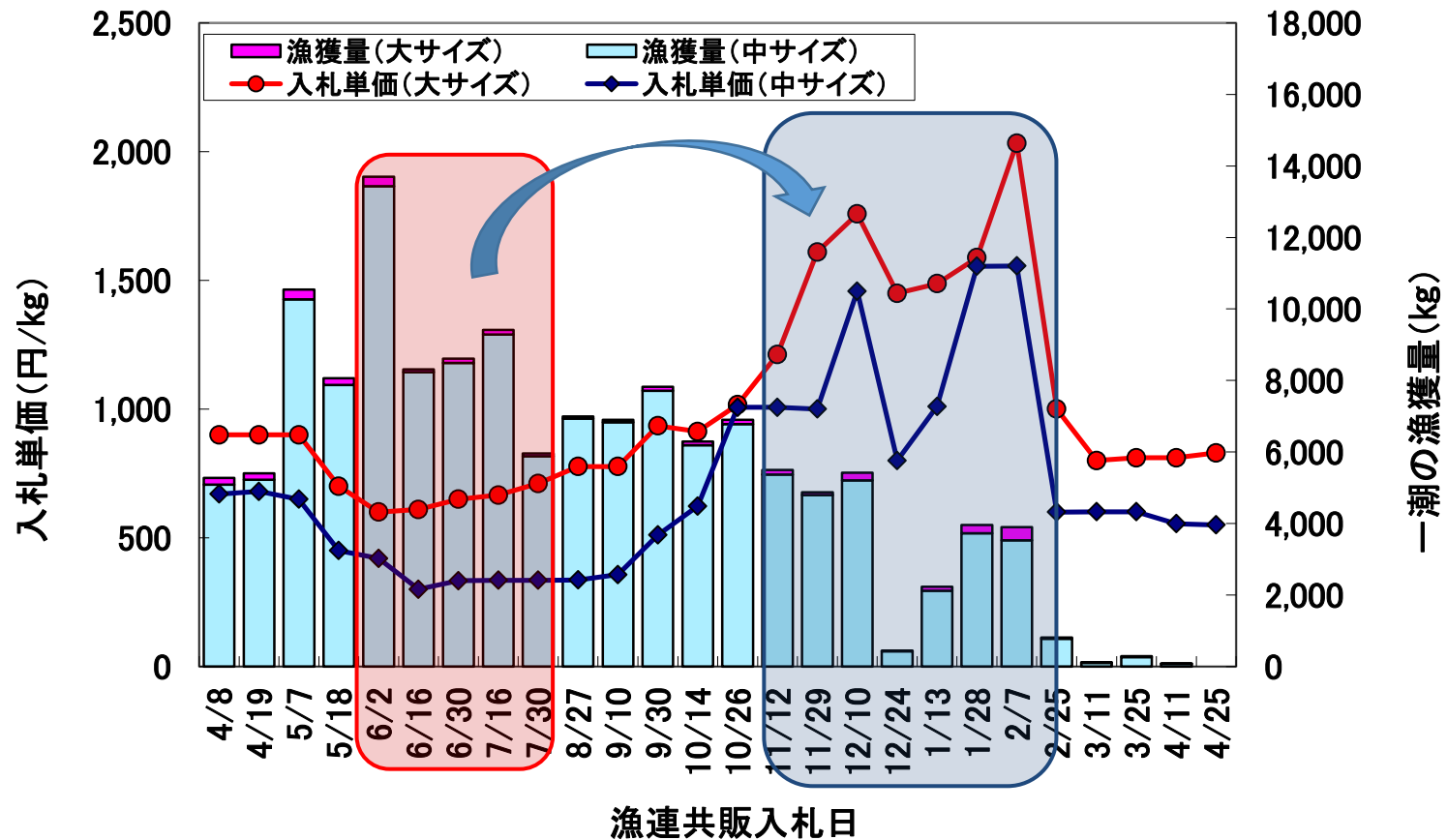
図 カゴ飼育試験による成長・生残

ハマグリ資源管理マニュアルについて（３）

骨子紹介

★産卵時期（７～８月）の禁漁（p.14～p.15）

夏（７～８月）の産卵期には出来るだけ休漁し、
秋以降に単価が上がってから漁獲しましょう



ハマグリ資源管理マニュアルについて（４）

骨子紹介

★保護区の設置（p.17）

保護区を設置しましょう



保護区は、河口付近のハマグリが生息している場所に設定し、コンポース等で囲って明確にしましょう。

区画を網で囲い、覆いを被せることで、ハマグリの流出やナルトビエイなどの来遊を防ぎます。

保護区の設置例（八代郡氷川町地先）

ハマグリ資源管理の取組み（1）

★夏季の休漁（緑川河口域）

平成27年以降、緑川河口域の3漁協協同組合が連携し、
夏季（7～8月のうち1潮から2潮）の休漁を実施
休漁期間中は、保護区の設置や海底耕うん、食害生物駆除などを実施し
母貝保護に努めた。



写真：資源管理勉強会



写真：耕うん作業



写真：食害生物駆除

ハマグリ資源管理の取組み（１）

★保護区の設定（緑川河口域）

平成27年以降、緑川河口域に計3か所の保護区を設置
令和6年6月現在で5,100㎡の保護区を維持管理中

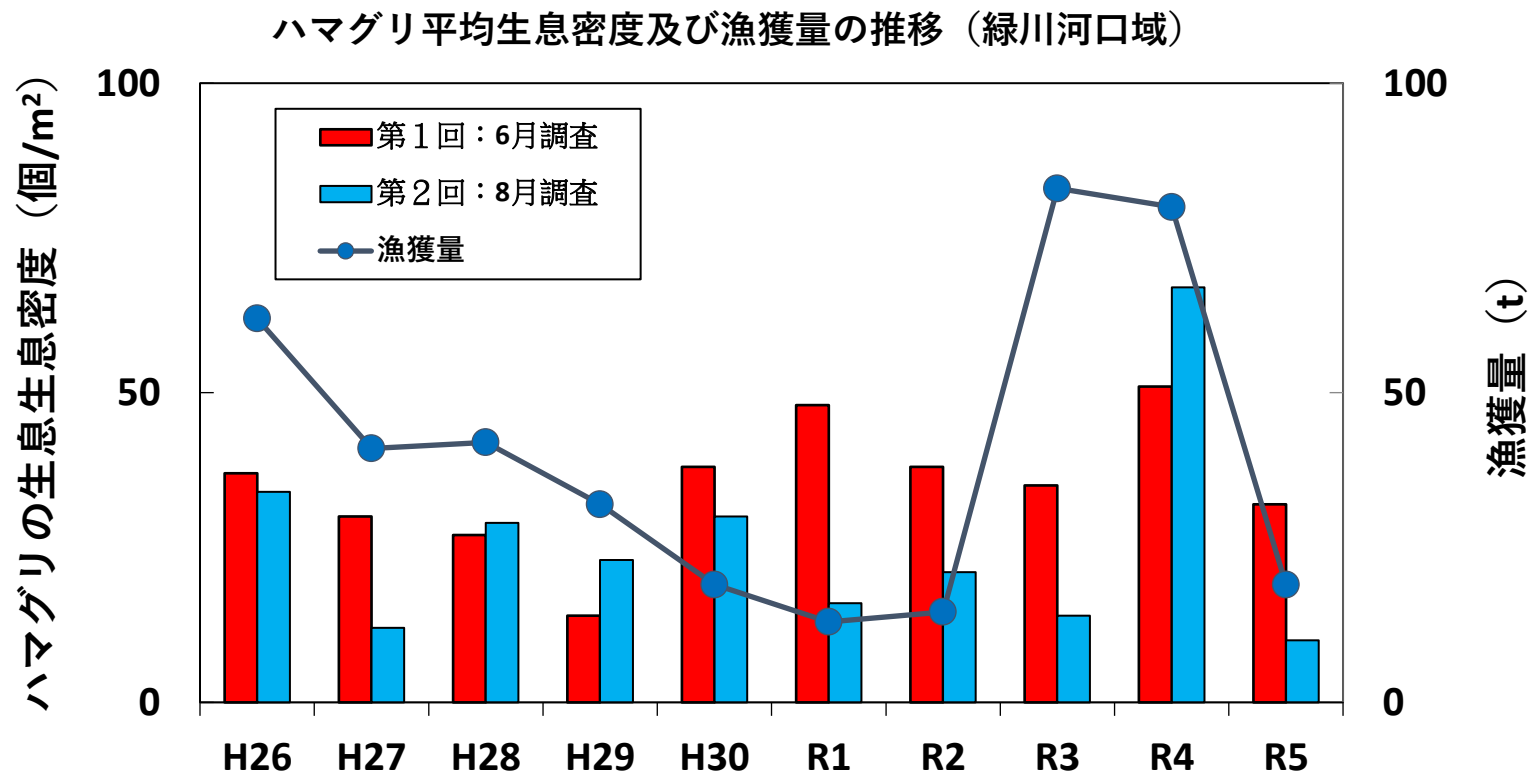


写真：保護区の設定状況



写真：保護区のハマグリ

近年のハマグリ資源状況について

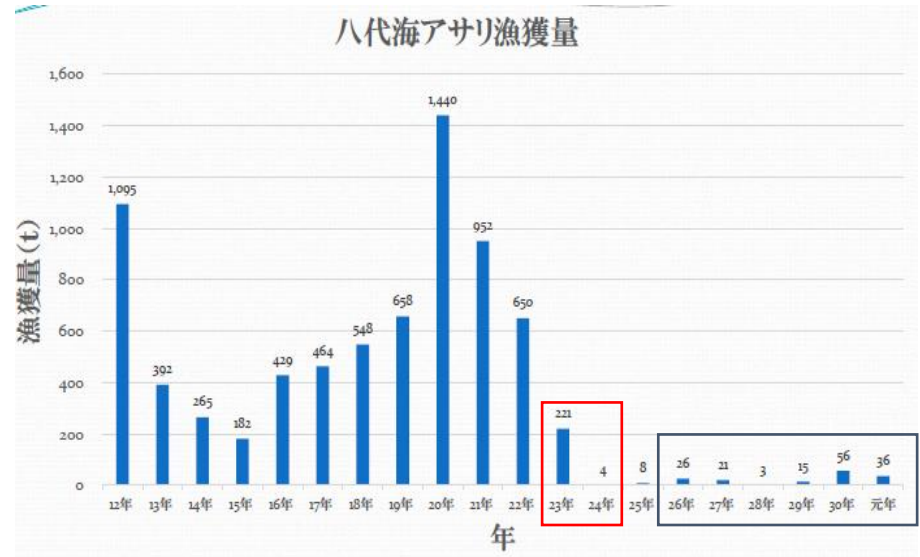


※漁獲量は、緑川河口域における主要漁協からの聞き取りによる。

休漁等の資源管理の取組みにより、直近10か年の資源状況は安定的
R3～4年は本格的な漁獲により漁獲量が向上

八代海におけるアサリの資源状況について

- 平成22年までは、漁獲量は年間200～1,000トン程度で推移



- 平成23年夏季に発生した豪雨により、湾奥部を中心にアサリ大量へい死が発生、漁獲量が低迷
- 平成27年ころから被覆網による保護の取組みが開始され始める



- ・湾奥部を中心に壊滅的な状況となったが、一部の海域で稚貝の生残が確認された

豪雨後も南部からの新鮮な海水の供給をうけた大島以南のアサリは、歩留まりの低下はあったものの成貝・稚貝ともに生残した



八代海におけるアサリの資源回復の取組み

★豪雨被災からの復旧

- ・豪雨被災直後から、各地で漁場の清掃やアサリの保護活動を再開



写真（被覆網設置：R3.5 八代市鏡町地先）



写真（被覆網設置：R3.5 宇城市松合地先）

八代海におけるアサリの資源回復の取組み

★豪雨被災からの復旧

- ・豪雨被災翌年の4月には、保護育成されたアサリが大きく成長し、各地で一般開放による潮干狩りが実施された。



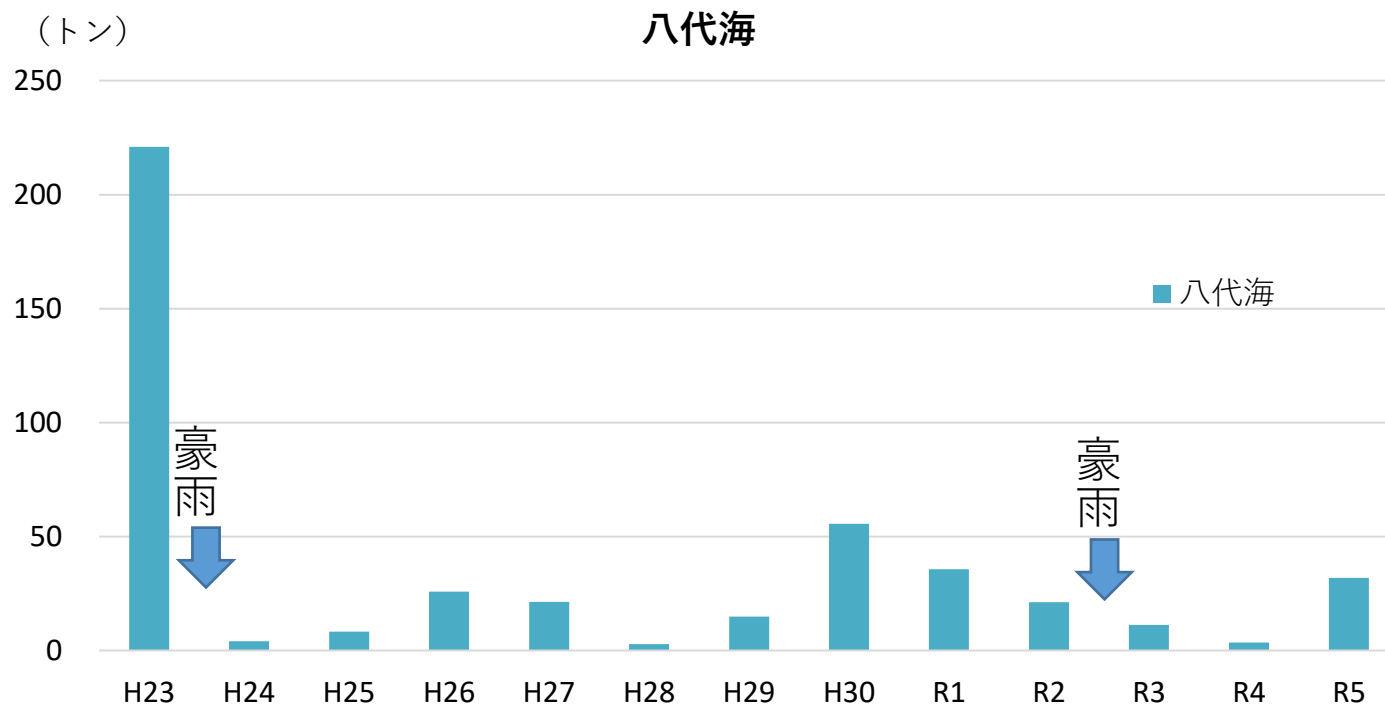
写真（一般開放：R3.4 八代市鏡町地先）



写真（一般開放：R3.5 八代市二見地先）

八代海におけるアサリの資源状況について

- ・ 度重なる災害を乗り越え、資源状況は再度上向きつつある



八代海におけるアサリの漁獲量推移

ハマグリの資源管理及び 八代海のアサリの取り組み

- ハマグリは、昭和**50**年代以降、長期的に減少
- 平成**25**年にハマグリの資源管理マニュアルを公表、継続的な資源管理に取り組んだ結果、
R3～4年にかけて漁獲量が増加
- 八代海のアサリは、平成**23**年及び令和**2**年の豪雨の影響で被災
- 現在、被覆網による資源保護に取り組んでいる